

蕨市新庁舎建設基本設計概要（案）に対する パブリック・コメント概要

1. 案 件

蕨市新庁舎建設基本設計概要（案）

2. 募集期間

令和2年3月30日（月）～4月19日（日）

3. 意見の件数（意見提出者数）

14件（8人）

4. 意見等の概要

No.	該当ページ 及び項目	意見の概要	市の考え方
1	P01 3. 新庁舎の 基本方針 ：4. 建設維 持・コスト を抑えたコ ンパクトな 庁舎	トイレのレバー等、市民が 頻繁に使用する部品は壊れ にくく、新しいものに簡単に 交換可能で、使用禁止となら ないよう配慮してほしい。	新庁舎のトイレを含む設備 器具等については、実施設計 のなかで、日常の清掃やメン テナンスが容易に対応できる 設備器具等を検討してまいり ます。
2	P02 1. 配置計画 ：駐車・駐 輪計画	駐車場が現在よりも広く なるが、自転車での来庁者数 は現在と変わらないと考え られることから、駐輪場の充 実した整備について、以下の 点をお願いしたい。 ・出し入れしやすいこと。 ・風よけや平置きの個別スタ ンドなど、強風でも自転車が 倒れない工夫をすること。 ・濡れずに雨具が着脱できる よう、屋根を庁舎まで続ける こと。	来庁者用駐輪場については、 現庁舎は敷地内に平置きで 20 台分を整備しています。新庁舎 では、できるだけ濡れずに自転 車を出し入れできるよう、庁舎 南側入口に近接する場所に整 備し、強風でも自転車が転倒し にくい屋根付きのラック式と、 原動機付自転車等の駐輪も見 込んだ平置き駐輪場合わせて 70 台分を計画しております。

No.	該当ページ 及び項目	意見の概要	市の考え方
3	P02 1. 配置計画 ： 駐車・駐 輪計画	<p>敷地に限りがあるため芝生の広場は無理でも、敷地の多くを占める駐車場スペースが気持ちの良い空間になるよう、また、有効利用できるよう以下の点をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の植栽やベンチを多めに設置することで、利用のない土日には憩いのスペースとすること。 ・車室を区切る白ペンキのラインをグランドカバーランツ（芝などのように地面を覆う丈の低い植物）にすること。 ・要所に給排水設備を設けるなど、震災や感染症など緊急時に多目的に使えるスペースとすること。 	<p>駐車場については、災害時の被災者支援活動や関係諸機関の支援車両駐車スペースなど多目的に活用できるよう、敷地の南側にまとまったスペースを確保する計画としております。整備にあたっては、維持管理のしやすさなどに配慮し、実施設計において検討してまいります。</p> <p>市民の交流と憩いの空間となるよう、表玄関前にはイベントにも活用できる「玄関庭」、中山道本町通り側には、植栽やベンチを並べた「とおり庭」を整備する計画としております。</p>
4	P02 2. 立面計画 ： 外観デザ インの考え 方、外装計 画の考え方	<p>長く使用する観点から、外装材及び内装材、什器は、木材やタイル、打ち放しコンクリートなど、経年で美しさが増すような自然素材のものを使用してほしい。また、外観に蕨の特色を取り入れていることは良いが、要塞のような印象も受けるため、全体的にやわらかく親しみやすい雰囲気になるよう配慮してほしい。</p>	<p>外装材等については、実施計画において、ライフサイクルコストを考慮した、長寿命でメンテナンスが容易なものを検討してまいります。</p> <p>外観については、近接する「中仙道蕨宿まちなみ協定区域」の街並みとも調和を考慮するとともに、市民にとって親しみやすい庁舎となるよう、素材等についても実施設計において検討してまいります。</p>

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
5	P03 1. 平面計画 ：全体（ゾーニング）	超高齢社会に入ると、働き手が減り、ペーパーレス化、RPA による効率化、テレワークが当たり前になると考えられることから、執務スペースは、現庁舎と同等以上の広さは必要ないと思う。削減することで、コストを抑えてほしい。	現庁舎の執務スペースは、窓口でのプライバシーの確保や職員の椅子がぶつかるほどの狭隘化が課題となっております。新庁舎は、将来的な行政需要や組織構成などの変化にも柔軟に対応できるユニバーサルレイアウトを基本とすることで、国の基準で算定した面積よりもコンパクト化を図った計画としております。
6	P03 1. 平面計画 ：全体（ゾーニング）	執務スペースの空いたスペースを市民への貸しスペースとして開放してほしい。 民間よりも少ない費用負担で、市民向けのテレワーク等で利用可能なサービスの提供を検討してほしい。	市役所業務は、個人情報を多く取り扱うことから、庁舎内でテレワーク等に利用できる貸しスペースを提供することは想定しておりません。市民活動に利用できる市民交流機能として、1階エントランスホールに面して、多目的会議室を設置する計画としております。
7	P03 1. 平面計画 ：全体（ゾーニング）	蕨市のハザードマップから荒川堤防決壊時、逃げ惑う間もなく、濁流が流れ込んでくると思われるため、市民の命を守る観点から、5階（議場、議員の控室等）及び屋上を被災住民が一時的に避難可能にするべく、防災安全を考慮した外階段の設置や一時仮眠のスペースとするためなどの対策設備を追加してほしい。	蕨市洪水ハザードマップにおいては、戸田橋付近の堤防が決壊した場合、最も早く浸水が想定される南町が1時間後に0.5m以上1.0m未満、市役所付近は3時間後に0.5m以上1.0m未満、6時間から12時間後に最大2.0m以上3.0m未満の想定となっております。 新庁舎には、災害発生時にも庁舎機能を維持するとともに、速やかに災害対策本部を設け、国や県等関係諸機関と連携しながら、広く市民の命を守るための災害対応の拠点として必要な機能を整備する計画としております。

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
8	P03 1. 平面計画：全体（ゾーニング）の倉庫・書庫	<p>現庁舎は廊下にダンボールが積み上げられていて、通行しにくく、見通しも悪く、地震の際には危険であると感じていた。新庁舎では物をすべて収納し、書類を電子化するなど、物を増やさず整理整頓を心がけてほしい。</p>	<p>現庁舎の文書量等を調査の上、省スペース化を図るため、執務スペースに近接した場所に、適正な規模の倉庫・書庫を配置する計画としております。</p> <p>また、今年秋に予定している仮設庁舎等への移転に際しても、文書の電子化などを含め、文書量の削減を図ってまいります。</p>
9	P03 1. 平面計画：全体（ゾーニング）2階・福祉関連課（室）の集約配置	<p>社会福祉協議会への委託事業である「生活自立相談支援センター」を生活支援課の隣に配置してほしい。</p>	<p>生活自立支援センター事業は、社会福祉協議会への委託事業として、総合社会福祉センター内で行っております。</p> <p>引き続き、相談内容により担当者同士が相互に情報共有を図り、必要に応じて支援員が同行するなど、相談者の負担にならないよう連携を図ってまいります。</p>

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
10	P04 1. 防災計画 ： 確実な業務継続のためのバックアップ機能の充実	<p>災害対策機能を担う新庁舎においては、復旧復興の指揮を取りつつ、市役所業務継続機能も果たさなければならぬため、平時からの空調等のエネルギーシステムが、災害時にも機能するよう、都市ガスによる空調システム（GHP）であれば、災害時の電力の節約と平時の電力のピークカットに資することができるため、発災時に外部からの電力に頼らない「電源自立型」等も含め導入を検討してほしい。</p> <p>また「非常用発電機と3日間の燃料備蓄」と「電力補助としての10kw程度の太陽光発電」だけでは、災害対応として不十分と考える。自然災害と大規模停電において強靱性が確認されている「都市ガス中圧導管」の引込みを検討してほしい。</p>	<p>空調の熱源については、実施設計において、室用途、負荷、運用形態に応じた省エネルギー化を図る方式を選定してまいります。</p> <p>新庁舎に「都市ガス中圧導管」の引込みを行う場合、国道17号のガス管から引込むための工事が必要となるため、空調の熱源の選定と併せて、電気及びガスのライフサイクルコストを踏まえた上で、総合的に比較検討してまいります。</p>
11	P04 2. ユニバーサルデザイン計画 ： トイレ	<p>トイレについて、以下の点をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の方が男性より時間が3倍かかるという研究もあるため、トイレの数を男女比率1対3としてほしい。 ・LGBTの方が使いやすいよう「多目的トイレ」の名称を「だれでもトイレ」としてほしい。 	<p>トイレの数については、日常的に利用する職員の男女数から、「給排水衛生設備基準・同解説」に基づき、ゆとりのある器具数を算出して計画しております。</p> <p>また、「多目的トイレ」については、名称に関わらず、必要な方が使いやすいようピクトグラム等も用いたサイン計画としてまいります。</p>

No.	該当ページ及び項目	意見の概要	市の考え方
12	P04 2.ユニバーサルデザイン計画 ：サイン・誘導計画	聞こえにくい方への設備について、以下の点をお願いしたい。 ・「補聴支援設備」とはどのようなものか、説明文をつけてほしい。 ・横浜市等で採用される難聴者や高齢者が聞きとりやすいとされるスピーカーを設置してほしい。	難聴者や高齢者が聞きとりやすいスピーカーを含む「補聴支援設備」については、実施設計において、運用方法等を考慮しながら、具体的な設備を検討してまいります。
13	P05 1.環境配慮計画 ：自然エネルギーを積極的に活用 (4)雨水利用	最上階の屋根集水面積における流水抑制の効果や、雨水貯留槽の設置工事費、渇水期における補給水設備工事費、中水道としてのトイレ給水設備工事費などのインシヤルコスト、維持管理費など費用対効果を考えると、雨水利用について、特にトイレ洗浄水利用は慎重に検討してほしい。最近では超節水型の衛生陶器がある。	雨水利用については、水道使用量の削減、及び雨水流出抑制を図るだけでなく、災害等による断水時にも1日程度のトイレ用水をまかなう、業務継続のためのバックアップ設備としての機能も兼ねる計画としております。また、トイレ等の衛生設備については、節水型の機器を検討してまいります。
14	その他 パブリック・コメントについて	新庁舎に関するパブリック・コメントは、今回が最後であるということがわかるように実施してほしかった。	新庁舎に関しては、「蕨市新庁舎耐震化整備基本方針」の決定や「蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画」の策定、今回の「蕨市新庁舎建設基本設計概要」の策定にあたり、パブリック・コメントや市民アンケート等によりご意見をいただき、今後は、工事の契約や施工に必要な図面、仕様書・計画書等を作成する実施設計に着手してまいります。ご意見等がありましたら、随時お寄せいただければと思います。